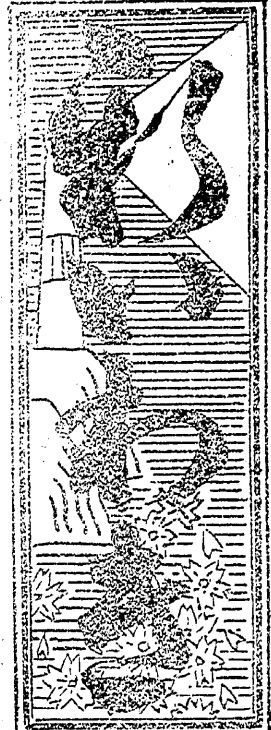


(夕刊)



平の水道工事町會

結局は原案可決か

但深重な調査の上に於て 而して委員選任が最も緊要

平町に於ける水道工事町會は結局全議員の委員に決す

一時に招集される更正豫算にて 額は起債認可の當時に於て

減する 三十三萬五千

六百五十圓で各項目に亘る 微細内容は詳細でないが前

用材料と勞銀の 輕減が主なるもので

事務所費の如きには大なる 異動を許されぬものと見

の意向としても節約一點張 を以て

極端に 切詰めた修正

を加へて受補助の上に影響 を招き追加を見ねばならぬ

新炭木材等であるが各驛の 数字を上れば左記の如く

獨り泉 驛に二割五分 の發送増加を見せるもの

疲弊が 如何に深刻で あるかを想像するに余りあ

るものと唱へられてゐる

▲發送率三三二六五(三 四一七七)四倉四五三〇

三(七八七四二)綴六二二 三九六(六八〇七五五)湯

本一八一七五七(三一二 位番孤内は前年同期

百間高の斷崖から 飛込んだ覺悟の死

江名町網取岬で廿三の青年 小名濱築港側石城郡江名町中であつて旅館には左記の

年の溺死体あるを同地馬目 網取岬下の海岸に去十九日携帶品を遺してある死因は

午後五時頃二十三才の青年命である

▲栃木縣大袋署四九一六 號鑑札栃木縣一三〇三七

四號の自轉車一臺其他石 衣數點

賣先難で 二十二日の

平町魚市況 旅館福田屋事小野新太郎方石城各濱は目下相當の鯉魚

に投宿せる自稱栃木縣河内事を上げ價値も僅少の上向 部編島村大字編島高伊藤事を示してゐたが昨二十一日

▲二本を平らげ散歩と稱し濁の四百、江名及び小名濱 に出かけたものであるが自の各一千尾に漁を返して

て出かけたものと同様に身元らしきもの度も比較的良好かつたに拘ら なく同町の假埋葬に付され八割から五割五分までの

路上の娘と 綴の自動車事故

平町あまご自動車方運轉手 双葉郡廣野村北迫生れ西

山次郎(四)は廿一日午後三 時頃内郷村地内國道を疾

中路上に立つて居た同村の 々木たま(五)を左側に避け

んとせる際たまに慌てられ て同人を轢倒し全治一週間

の傷を負はせ下水に車輪を 落した同車の乗客湯本町事

町理髮業伊藤茂(三)に浴槽 四日間の擦過傷を負はせた

人命救助で 青年表彰

石城郡赤井村西小川安治 男佐藤照男(一)は廿一日午

後三時頃附近の小玉川で母 ね(三)の洗濯側で遊戯中

河中に沈み溺死せるを折 流に押流され溺死せるを折

同所に水泳してゐた村内 高萩野博文(三)が発見人

口呼吸し蘇生せしめたが博 文を人命救助で表彰すべく

平署から申請した

築冠は 悉く南町

武道に於ては 六七丁目目が優

仲間の堀を見て居る夕す

再協議 濱木炭組合で

濱三郡木炭同業組合では現 下の不況に處し役職員の減

員並に減俸に關し八十名の 代議員へ文書によつて賛否

の回答を求めたが廿日迄の 回答廿余名に過ぎず未回答

の六十名は大數不賛成の模 様である爲來廿四日午前九

時平町同組合事務所に重ね て支部長を開催する出

出生と死亡 出生 平町材木三十三六渡

邊小治郎長男謙一十八日 平町五丁目六諸橋元三郎

三男嘉一十三日午後一時 死亡 平町鎌田町五十三

▲死 門脇福太郎(六)十八日寄 留地東京府下南葛飾郡吾

婦町小村井三十三 平町仲間町十六小林廣治

(七)十六日寄留地仙臺市 米ヶ袋中丁百十八

俳句 涼

満壽壯主人 (六)

仲間の堀を見て居る夕す

木導

木導 或屋敷のちうげんが夕す

みすると掘端へて堀を

見つけたと云ふだけですが

此人物を仲間とし場所を堀

端としたので何となく芝居

の趣きが理想されかの慶安

太平記の九橋忠彌に扮した

市川左團次なその面影が思

ひ浮ばせられる

思ふ程物云はぬ人と涼み

けり

百池

門前に涼臺を出して涼を納

れて居た側に一人掛けて居

る人が居る一言二言話しか

けて見たが只簡單な返事を

する許りでさきから話しか

けると云ふ様な事はさらさ

ない何となく氣詰りな人と

ハリー オートバイ

車体優美、機構完全

目下使用中

平町若松醫院

一處である爲かどうも涼し

いと云ふ氣がしないだが外

に行處はなし仕方なしに涼

んで居る

門涼みぬれきぬに名は立

やすし

曉台にも似合はぬ(イロ)味

たつぷりの情歌式俳句であ

るまづこんなのは俳句とし

は推賞出来ぬ部類でせう

夕涼やくたびれに出る上

野山

何と皆さん思ひ當る事があ

りませんか江戸なればこ

そ土野山だが松ヶ岡でも夏

井川でも(くたびれ)にわざ

わざ出掛けて行く滑稽さも

ユウモラスとも考へて馬鹿

々々しい限りであるまいか

改革概論 (124)

大内 民 恵

第 一 章 推 移 時 代

之れが前に申しました
々の研究機關に相當する一
の方法であります、それで
もまた教員は不足するのだら
うと思ひますから、其補充
は目下投資しても尙ほ且つ
賣れのことて就職し得ざる
各大學専門學校の卒業生中
より其素質を調査し終生國
民教育に従事しやうと云ふ
希望者を選抜してそれ等一
一年乃至二年の教育を施し
て任用すると云ふ方法をと
るのであります、

以上の順序によりますと
と新制度實施の第一年に募
集した師範學校の一學年生
が五年かゝつて師範學校を
卒業し國民學校に赴任し假
りに本科一學年を受持つこ
として本科六ヶ年、中等科二
ヶ年、高等科三ヶ年と合せ
て十一ヶ年總對的繼續主義
より其教育の任にあつて
はじめて新制度の卒業生を
出すことになる勘定であり
ます、要するに推移時代に
於て十六ヶ年を要し其成績
効果が漸次著はれて來るこ
とになるのであります、ま
ことに程長い話であります
が教育と云ふ仕事はかうし
た順序をとらなければ眞の
目的を達することが出來な
いのであります、明治五年
に出發した教育が今日にな
つて其欠陥がわかつて行詰
りとなり不徹底となつて今

夏季浴衣地特賣

日それに氣が付之れを改革
實施することになつたとし
ても其結果は二十年、三十
年後でなければ之を見るこ
とが出来ないのであります

伊 伊 伊 伊 伊 伊 伊 伊 伊 伊

賣 特 地 衣 浴 物 夏

賣 廣 品 良 の 童 年 様 客 幼

ガソリン
モビル油
株式会社
石油
株式會社
特約販賣
油 問 屋
支 店 山 市
支 店 郡 山 市
支 店 關 本 縣
支 店 關 本 縣
支 店 關 本 縣
支 店 關 本 縣

恐怖時代の 動脈硬化症新藥

アイソニド

（價 定） 試用 二圓
中瓶 六圓
大瓶 廿圓

發賣以來
白熱的に
歡迎せらる

特約店
山野邊藥局
平町五丁目

内科 外科
小兒科
梅毒
淋病

市 原 醫 院
平町

萬年筆
プラトン
プラトンインキ

特約店 山野邊藥局
平町五丁目

麻雀俱樂部が 平町に生れました

平 驛 前

平 雀 俱 樂 部

中島寫真館
平町宇田町

よろこびますか
うチりますよ

良 品 廉 價

平 町 五 丁 目

西村屋藥舖 三番

謝 十 週 年 記 念

皆様の御引立によりまして開業十週年を迎えました御厚
恩に酬ゆる爲と諸物價暴落の現況に伴ふべく左記の値下
を率先決行いたしました。尙營業方針を改め從來の女給
を廢しボーイを以て御客様に上品な接待を致させます
更に來る廿一日から一週間 祝記念の點として
料理一品に付五錢 一つを割引提供致します

カツレツ	二十錢	オムレツ	廿五錢	チキンサラダ	三十錢
カレーライス	二十錢	メンチホール	廿五錢	チキンライス	廿五錢
ハヤシライス	二十錢	チキンライス	廿五錢	コイルチキ	廿五錢
ピフカツレツ	廿五錢	チキンカツレツ	三十錢	ハムサラダ	卅錢
ピフカツレツ	廿五錢	ピフテキ	三十錢	ハムイグス	卅五錢
ハヤシビーフ	廿五錢	ピフシテユウ	三十錢	メンチカツ	卅五錢

ビール	一本	四十錢	ソーダ水	一ツ	十五錢
サツボロ	同	四十五錢	レッキス	同	十五錢
アイス	同	二十錢	アイス	同	十五錢
アイス	同	二十錢	アイス	同	十五錢
アイス	同	二十錢	アイス	同	十五錢

平町 驛前
電話 〇〇番

カフエー タヒラ 食堂

製造元
丸 器 藏 冷
平町 三丁目
電話 三五九番